

# ともに暮らしたい

平成27年4月号

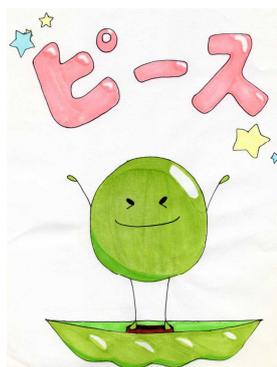
## 事業の充実を図ります



## ご期待ください

### <充実させたポイント>

- (1) 日中一時支援事業「ピース」を拡大行います。
  - ・月曜日～土曜日まで毎日運営します。(詳細は、次ページを)
- (2) 生活介護事業を開始します。
  - ・6月頃を目途にスタートさせます。(詳細は、次ページを)
- (3) 送迎を拡大します。
  - ・送迎を充実させ、家の方の負担を軽減します。必要な方は、ぜひ、相談ください。
- (4) スタッフの充実をはかります。
  - ・4月から4名のスタッフを増員し、サービス管理責任者、看護師を配置しました。
- (5) 給食に取り組むたいと考えています。
  - ・利用者とともに食事作りをすることで利用者の有能感を図っていきます。
- (6) 施設の充実をはかっています。
  - ・身障者用トイレを飛騨市で整備したいいただきました。その他送迎用車輛、AEDの設置など整備をはかっています。



新年度のスタートにあたって

## 日中一時支援事業「ピース」の拡大

### 日中一時支援事業とは

障がいのある児童・成人の方に対し、日中における活動の場を提供し、ご家族の身体的、精神的な軽減を図ることを目的としています。

平成二十七年四月一日より

月曜日～金曜日

午前九時三十分～午後六時まで

土曜日

午前九時三十分～午後四時まで

日曜日、祝日、お盆、年末年始はお休み

☆送迎は要相談

日頃は日中支援事業所「ピース」をご利用いただきありがとうございます。おかげさまでピースが開所して一年になります。

この一年間は開所時間が短く、いろいろと不便をおかけしていましたが、四月より月曜日～土曜日まで、開所いたしますので、より一層ご利用いただけますようよろしくお願ひ申し上げます。

## 生活介護事業「ピース」の内容および利用について

### 生活介護事業とは

障がいのある児童・成人の方に対し、日中における活動の場を提供し、ご家族の身体的、精神的な軽減を図ることを目的としています。

### 【支援方針】

地域生活や社会参加をしていけるようご利用者やご家族の気持ちや願いに寄り添い、本人が安心して主体的に活動ができる環境を提供することにより、ひとりの人間としての成長や可能性を引き出し、達成感や自己肯定感を育む支援をしていきます

### 【サービス内容】

- ・日中における活動の場の提供
- ・創作的活動（工作、手芸、絵画作成等）
- ・生産活動（封筒作り、シール貼り、野菜作り、月刊プレス配布等）
- ・体力づくり（ウォーキング体操、軽スポーツ等）
- ・季節行事（新年会、節分、花見、新緑ウォーキング七夕、紅葉狩クリスマス会等）
- ・鑑賞会、誕生会等
- ・外食、買い物（給料口）
- ・将来に向けての自立支援、調理、掃除洗濯 マナー等

### 【日課の例（左の表参照してください）】

☆ 実際の日課は、利用者や家庭の方と相談しながら計画を立てます

9:00	頃	自宅へ迎え（送迎希望の方）
9:30		朝の会、挨拶、目標、スケジュール確認、家庭からの連絡確認、健康チェック、体操
10:00		生産活動、創作活動（途中休憩あり）
11:30		手洗い、トイレ、昼食の準備
11:45		昼食
12:30		昼食の片づけ、歯磨き、
13:00		生産活動、創作的活動（途中 休憩あり）
15:00		終わりの会、反省 あいさつ
15:30		終了：送迎により帰宅、または日中一時支援事業ピースへ（18:00 まで）

### 【利用日・利用時間】

- ・月曜日～金曜日（祝日、年末年始は休み）
- ・午前九時三十分～午後三時三十分

### 【その他】

- ☆ 活動費（外食、買い物、行事等）は実費負担していただきます
- ☆ 生産活動では、その活動内容に応じて、工賃をお支払します

## 障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちづくりをめざして

### ① はじめに

NPO 法人飛騨市障がいのある人を支える会は、平成 20 年 6 月より任意団体として障がいの有無にかかわらず、生涯にわたって安心して暮らせるまちづくりを目的に活動を始めました。

その活動の結果、私たちの要望が飛騨市発達支援センターの設置や飛騨古城特別支援学校の開校の形で実現してきました。そこで、学校卒業後の生活の場、働く場、社会参加の場等を自ら創設していくために、平成 26 年 3 月に NPO 法人として新たにスタートしました。



飛騨市発達支援センター

### ② 実践の内容

#### (1) 当法人の3つの目標

- 1 子どもから高齢者まですべての人が生まれ育ったまちで共に暮らす「共生社会」の実現をめざします
- 2 障がいのある人が社会の一員として地域で生活し、地域に貢献できるよう支援します
- 3 障がいのある人が一生涯にわたって途切れのない地域生活の支援体制を推進していきます

#### (2) 主な事業

- 1、障がい者等の就労支援事業
    - ・ 神岡町公衆トイレ等清掃請負事業
    - ・ 特別支援学校高等部の現場実習受け入れ
  - 2、障がい児・者の地域交流事業及び余暇活動支援事業
  - 3、障がい等の相談事業
  - 4、地域福祉向上のための啓発事業
    - ・ 会報「ともに暮らしたい」発行（年4回）
    - ・ ベルマーク運動
- （飛騨古城特別支援学校へ寄付）

#### 5、障害者総合福祉法に基づく障害福祉サービス事業

- ・ 日中一時支援事業 「ピース」

平成 26 年 4 月から、日中一時支援事業ピースを開始しました。

ピースでは学校や作業所の帰りに、または長期休暇に家庭と同じようにほっとひと息つける場、余暇を楽しむ場、社会参加につながる場として、13 歳から 41 歳までの方がご利用いただいています。創作活動（手芸、工作、劇、野菜作りなど）や散歩、ゲーム、ビデオ鑑賞等それぞれが思い思いのなかで楽しい時間を過ごしています。



### ③ おわりに

助成していただいた、ブルーヒーターとパーティションにより、利用される方が快適で安心して過ごせるよう環境整備をすることができました。

今後は、重い障がいのある方を受け入れていけるよう 27 年度に生活介護事業の開始をめざし、さらにはグループホームの実施により、生まれ育った地域で安心して暮らせるような支援を行っていきたいと考えています。

研究助成報告書「明日をきずく」より一掲載記事より一  
日本教育公務員弘済会岐阜支部より助成をいただきました

# 飛騨市の援助で 身障者用トイレ が整備されました

生活介護事業の強い後押しになりました。



身障者用トイレには、簡易シャワーや収納式多目的ベットも配備し、重い障がいのある方にも対応できるように整備されました。

井上飛騨市長の熱い思いに感謝！

## ◇寄付をいただきました◇

ありがとうございます

○瑞岸寺 益世会 様より

七万三千五百五十七円

○たくさんの方々から、白タオル、布地、カレンダー、インクカートリッジ、ベルマーク等、数々の物品のご寄付をいただきました。

## ◇ご協力ください◇

○就労支援の一環として、次の物品を集めています。生活介護事業ご利用者の工賃として反映されますので、ご協力をお願いします。

- ・エコキャップ(ふた)
- ・アルミ缶
- ・白タオル
- ・カレンダー
- ・書き損じはがき
- お問い合わせ先□  
福祉サービスマニエール事業所

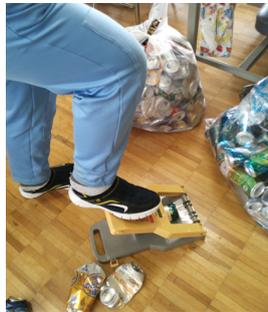
☎一五七八ー八二一ー五五九

(平日8時30分～4時30分)

○九〇一四二二七ー三六一六 (奈木)

## 【編集後記】

平成二十七年がスタートしました。支える会では、新たなスタートを切り、ますます充実させていきます。ぜひ、施設へお越しください。お待ちしております。



## ◇設備を充実させています◇

### 《送迎車輛》

- ・送迎車輛(トヨタノア八人乗り)も準備し、ご家族の負担を軽減します。

※写真は、用意した送迎用車輛



### 《AED》

- ・いざという時に備えてAEDを設置し、救命講習を実施



しました。玄関に設置していますので、地域の方もぜひ、ご利用ください。

### 《ガラス飛散防止シート》

- ・施設内のガラス窓には、飛散防止シートを貼り、安全面の配慮もしています。

### 《身障者用トイレ》

- ・とても使い易く、重い障がいのある方も安心して生活することができます。